



# 「ぼうさい探検隊」事業

平成18年11月11日(土)  
桜川市社会福祉協議会

今回は、桜川市社会福祉協議会が平成18年11月11日(土)に開催した「ぼうさい探検隊」事業を紹介します。

子どもたちが探検隊を編成して、防災という視点で街の状況を見て回り、これにより街への関心を高め、消防署や地域の社会資源などの体験を基に、防災マップを作ることで防災意識を高めるほか、自分たちと同じ地域で生活している方々へのインタビューを通して、様々な発見をすることが目的です。

当日は午前9時集合。参加費は無料でした。小雨が降る中、真壁小学校4年生から6年生の男女合わせて32名が参加しました。

開会式の後、3班に分かれ作戦タイム。グループの名前、役割を決め、コースを確認した後、10時に探検に出発。

消防署では実際の出動までの手順を体験し、郵便局では実際に災害が起こったことを前提に質問をし、コンビニでは災害のときに何が必要になるか1,000円以内で買い物をしました。他に、医院、旅館、自動車整備工場、公民館に立ち寄り、この街についての感想等を聞いて回りました。また、緊急避難場所、防火水槽や消火栓の位置もしっかり確認しました。



カッコイイ!!

あいにくの雨模様ということもあって、途中、バスでの移動もありましたが、11時半頃には、各班とも探検を終えて、昼食を済ませた後、防災マップの作成に取り掛かりました。

模造紙に、午前中に取材をしたところの写真を貼り付けたり、探検内容や感想を書き込み、個性豊かな地域の防災マップを作り上げ、最後に、班ごとに取材内容の発表を少し恥ずかしそうに行いました。



う~ん?!

子どもたちに感想を聞いてみると、「今日は雨が降っていて、全行程歩けませんでしたが、次の機会があれば歩いてもっと細かいところが発見できるのではないか」と、「自分たちの街のことをもっと知りたい。」「実際災害が起こったらどうなってしまうのだろう?」、「災害時にコンビニで買い物ができるのだろうか?」といった感想が出され、今回の探検で新しい発見があったようです。

探検隊に参加した子どもたちが、これから、地域の安心・安全なまちづくりをしてくれることでしょう。

今年度、「ぼうさい探検隊」事業は、茨城県社会福祉協議会の助成で、桜川市、那珂市、常陸太田市、城里町の4社協が行いました。



こんなマップができました

## いばらきの社会福祉

Social Welfare of Ibaraki



本紙は、古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

発行者／社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会

〒310-8586 水戸市千波町1918

電話 029(241)1133(代)

FAX 029(241)1434

ふくしネットワークいばらき

(http://www.ibaraki-welfare.or.jp/)

(E-mail ibashakyo @ibaraki-welfare.or.jp)



環境に配慮して再生紙と大豆油インキを使用しています。



携帯電話で読み取るだけで簡単に「ふくしネットワークいばらき」にアクセスできます。